

令和4年度 第3回 若葉区区民対話会概要
「外国人にとっても暮らしやすいまちづくりについて」
(千葉モードビジネス専門学校)

1 区長挨拶

2 留学生自己紹介(母国の紹介を含む)

各国(ネパール、タイ、モンゴル、ミャンマー、ベトナム)の名所や料理に関して、発表形式で紹介があった。

3 意見交換

- ・ボランティア活動に参加したいが、方法がわからないので教えてほしい。新聞配達の仕事をしているが、お客さんの中に高齢者のひとり暮らしなどで、孤独を感じて人と話したがっている人がいる。新聞がポストに溜まっていると心配なので、声がけしたい。
⇒(区長)新聞配達を通しての見守りなどのボランティア活動は、実際にやっているところもある。勤め先に相談するといい。新聞がたまっている家があったら、ピンポンを押して「元気ですか」と声掛けするだけでも立派なボランティア活動。その際、自分が配達員であるという身分を明確にする必要がある。
- ・地域の住民とコミュニケーションをとれる機会がほしい。
⇒(区長)町ごとに「自治会」という組織があり、それぞれの地域を良くしようと活動している。ボランティアということでは、見守り活動や支えあい活動を行っているところもある。皆さんが住んでいる町の自治会長に話をし、集まりに参加し、ボランティアの相談をしてみてもいいかもしれない。また、個人的にということであれば、ボランティアセンターが若葉保健福祉センターの中にもある。特に外国人向けのものであれば、千葉市国際交流協会があり、ここならボランティア活動の希望やその他の色々な悩みを聞いてくれるので、困ったら相談してほしい。
- ・2030年に若葉区がどんな環境になっているかおしえてほしい。たとえば外国籍の人の割合がどのくらいになって、暮らしやすくなっているか。
⇒(区長)若葉区でも外国籍の住民が増えている。中でも一番多い国はベトナム、次いで中国。外国籍の人が増えて地域で一緒に暮らしていくわけだが、行政だけでは課題がわからない。こんな地域にしてほしいという意見を教えて欲しい。

・若葉区ではアジア向けのイベントがとても少ないと思う。できれば1年に3～4回くらい行ったらどうかと思う。

⇒(区長)ご自身で主催してみてもどうか。すべての要望には行政は応えられないが、一緒になってやっていくことはできる。主催してもらえれば協力する。どうしたらできるかを共に考えたい。

・ひとつの場所にアジアの店を集めて物を売りたい。有志を集めて、区役所の人と今年は何をするか相談して行ってきたい。

⇒(区長)区役所の前にちょっとした広場があるが、そこを貸すこともできるし、店を集めるのはどうしたらいいか皆さんで集まって話し合う場を作ってもらいたい。他にも区民まつりや、コミュニティまつりで出店してもらうこともできる。いろいろなやり方がある。情報交換しながら進めてほしい。

・防犯街灯の数が少なく、女性の一人歩きに危険を感じる。

⇒(区長)防犯街灯がほしいという意見を自治会に話してもらい、それが地域の総意ならば相談にのることができる。ひとりの意見だとなかなか通りにくいですが、自治会を通して要望してもらおうと、意見が通りやすい。

・留学生のことについて、区はどれくらい把握しているか。

⇒(区長)あまり知らないなので、今日の対話会でいろいろな意見交換をしたいと思っていた。

・国際交流フェスティバルをやったらどうか。学校の中でのイベントについて市でも広報してもらえると参加する人が増えるかもしれない。

⇒(区長)積極的に情報を提供してほしい。まだまだ、どこでなにをやっているかわからず、行きたくても行けない状況にあると思う。また、若葉区のホームページや市政だよりの若葉区版に区内のイベント情報などを掲載しているので、ぜひみてほしい。若葉区の魅力ある資源、動物公園や富田さとにわ耕園、坂月川など載っているの、そういうところに留学生が来てもらえれば交流できると思う。

・今住んでいるところでは、大きい通りに沿って花が植えられていてきれいである。

この近くでも花を植えたい。どういう協力をしてもらえるか。

⇒(区長)花を植える許可を得るための手伝いはできる。花を植えたいところが公共の場所であった場合、許可、手続きが必要。こういうやり方をすれば土木事務所や公園緑地事務所に許可してもらえると助言できる。

⇒花を購入するとすると、お金の問題も出てくる。

⇒(区長)お金の問題は必ず出てくる。皆さんから集めた税金を、そこだけに投入したら文句が出る。区役所に頼るのではなく、どうしたらできるかを考えてほしい。

たとえばイベントで集めたお金を使うとか、SNS を利用し、クラウドファンディングなどで募ってみる。行政は税金を公平に、平等に使うにはどうしたらよいか考える必要がある。要望としてはすばらしいけれども、資金面までの協力はできないことがある。花を買うお金は出せないとしても、一緒に考えて、できることは協力して、一緒に街づくりをしていきたい。

- よく学校に、外国人が歩きタバコをしているとクレームが入るが、すべての外国人が自分の学校の学生ではない。悪い評判を立てられないよう、近所の人とコミュニケーションをとれる方法はあるか。
⇒(区長)自治会に加入して、コミュニケーションをとると自然と顔見知りになる。そうしたら、この人はどこの誰とわかるので、クレームにならないと思う。
- 区として、留学生や外国人が暮らしやすい、学びやすい環境づくりを奨励してほしい。そうすれば、人口が増え経済が上向いていく。
⇒(区長)東京情報大の留学生と一緒に地域活動していた自治会があった。NPO などの連携も有効だと思う。留学生がネパール料理を地域にふるまい、地域の方々と仲良くなり、交流を図っていた。
- 自分の国の料理店を若葉区でも展開したい。
⇒(区長)ぜひ、やって欲しい。地域の現状を知っておかないと、商売やビジネスがうまくいかない部分もあるので、そういう意味でも地域に入り交流を持つことは大事なことだと思う。

以上